

公益財団法人鳥取市文化財団

平成29年度事業計画

公益目的事業

1. 鳥取市に関係した文化・観光・産業に関する資料や文化財の調査、研究、収集、保存及び公開を行うとともに教育普及啓発活動を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 指定管理施設の管理事業

指定管理者として、鳥取市設置の下記指定管理施設を鳥取市と締結する指定管理基本協定書及び年度協定書に基づき維持管理する。

- ① 鳥取市歴史博物館
- ② 鳥取市因幡万葉歴史館
- ③ 仁風閣・宝扇庵
- ④ 鳥取市あおや郷土館
- ⑤ 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
- ⑥ 鳥取市あおや和紙工房
- ⑦ 城下町とっとり交流館

(2) 展示開催事業

鳥取市の文化等にふれあう機会を提供し、これに対する関心や興味を喚起するため、文化・観光・産業に関する資料を活用し、常設展示、特別展示、企画展示等の展覧会を企画・立案・開催する。

(3) 教育普及啓発事業

鳥取市の文化等をより身近に感じてもらうため、外部有識者や当法人の学芸員による講演会・講座、文化・歴史・産業に関する体験学習等を企画・立案・開催する。

(4) 調査、研究、収集及び保存事業

鳥取市に関係した文化・観光・産業を広く発信するため、各種事業を展開するに当たり、その基礎となる資料の調査、研究、収集を行い、その成果を展示や体験学習に活用するとともにこれを整理保存し、蓄積していく。

(5) 施設貸与事業

上記指定管理施設の効率的な活用を図るとともに、市民等に能動的に施設を活用してもらうことで施設の魅力をさらに高めることを目的に施設の貸与を行う。

(6) 関連物品販売事業

鳥取の文化・観光・産業に関係した物品や各施設で実施する展覧会、教育普及啓発事業に関連した物品の販売を行う。

2. 埋蔵文化財の発掘調査及び整理保管を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理保管事業

鳥取市に点在する遺跡の発掘調査を実施し、発掘により出土した遺構や遺物の調査、研究、整理、保管を行い、その成果を報告書にまとめるとともに市民に還元する。

各施設の具体的な事業計画は以下のとおり。

【公益目的事業 1】

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市歴史博物館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示の追加・更新	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室のパネル追加・更新。 ・故障機器類の修繕・交換。 ・ミニ展示（パネル展等）の開催。 ・企画展・特別展の第2会場利用。
	共催展 「鳥取県指定文化財展」（仮称）	平成 29 年 4 月 15 日～ 5 月 21 日 (予定)	平成 28 年度に指定された鳥取県無形文化財保持者（木工・福田豊氏、七宝・橋詰峯子氏）の作品を中心に、鳥取県指定の文化財を広く紹介する。
	企画展 「館蔵品展番外編～やまびこ館ってこんなところ」（仮称）	平成 29 年 6 月 3 日～ 7 月 2 日 (予定)	館蔵資料の紹介だけでなく、「博物館」の機能・役割等をわかりやすく紹介し、年度末に開催する館蔵品展Ⅲへの導入とする。
	共催展 「夏泊の海女」（仮称）	平成 29 年 7 月 15 日～ 8 月 27 日 (予定)	鳥取市あおや郷土館との連携事業。山陰海岸ジオパークの紹介とともに、夏泊をはじめとした豊かな漁場と、秀吉の時代からの歴史を持つ夏泊の海女漁をとりあげ、地域の文化・産業・観光資源としての魅力を探る。
	共催展 「絵本のひきだし 林明子原画展」	平成 29 年 9 月 9 日～ 10 月 22 日 (予定)	朝日新聞社・鳥取市歴史博物館共催事業 鳥取砂丘がモデルとなった砂丘まちを舞台にした「こんとあき」をはじめ、誰もが優しい気持ちになる、名作絵本を数多く送り出した林明子さんの絵本原画の数々を紹介する。全国巡回展。
	共催展 「第 19 回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」	(未 定)	鳥取県社会教育研究会主催で毎年実施している作品展。夏休み期間に子どもたちが取り組んだ、地図作品の数々を一堂で紹介する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	連携企画展 「鳥取市歴史博物館収蔵地図展」(仮称)	平成 29 年 11 月 3 日～ 12 月 24 日 (予定)	「鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」に連携して、当館の収蔵資料を中心に地図・絵図資料を展示する。
	特別展 「館蔵品展Ⅲ～先人の遺してくれたもの～」(仮称)	平成 30 年 1 月 20 日～ 3 月 25 日 (予定)	当館に収蔵されている諸資料の中からおよそ 50 件(100 点)を公開。鳥取市民共有の歴史・文化的財産である地域資料を、後世に継承するための意識を啓発する。
	30 年度以降の展示準備	通 年	平成 30 年度開催予定の展覧会「明治維新 150 年」、「池田治道と松平定信」(仮称)の前年度調査・研究等を行なう。
教育普及 啓発事業	学芸員講座	通 年	災害(4 月)、鳥取県再置(9 月)、吉川経家(10 月)と、時期に合わせた講座のほか、館蔵品展Ⅲにあわせた講座も行い、郷土の歴史への興味を深めてもらう。
	やまびこ・クイズ オリエンテーリング	平成 29 年 5 月・10 月 (予定)	やまびこ館と樗谿公園を舞台に、未就学児(保護者同伴)から高学年を主な対象とし、より施設への親しみ、関心を深めてもらう。参加者はマップを手がかりに会場に設置されたクイズ問題を探して回答し、タイムと正答数を競う。
	おうちだに工房 「ありがとうのカードを作ろう！」	平成 29 年 5 月・6 月・ 9 月 (予定)	小学生から一般を対象に、感謝の気持ちを込めた手作りのグリーティングカードを作ってもらう。(母の日・父の日・敬老の日で開催)
	おうちだに工房 「地図作り教室」	平成 29 年 7 月(予定)	鳥取県地域社会研究会との協働による、おうちだにを題材とした地図づくり教室。夏休み初め頃に実施する。
	おうちだに工房 「貝がらアートを作ろう！」	平成 29 年 7 月(予定)	夏(夏泊の海女)の展示にあわせ、貝がらを使ったアートに取り組む。
	おうちだに工房 「ハンコづくり」	平成 29 年 12 月(予定)	年始の準備に向けて役立つハンコづくりのイベント。石材またはゴムを使って、オリジナルのハンコを作ってもらう。
	歴史散策 (建物探訪)	平成 29 年 春	樗谿周辺の歴史的建造物を巡る。
	歴史散策 (バスツアー)	平成 29 年 夏・秋(予定)	夏(夏泊の海女)の展示にあわせたジオパーク巡りと、若桜の紅葉と歴史を楽しむバスツアーを実施する。
	歴史散策 (山の日記念)	平成 29 年 8 月	山の日を記念し、太閤ヶ平に登って秀吉の気分を味わう。
	古文書講座	平成 30 年 3 月(予定)	身近な資料を参加者とともにひも解くことで、郷土の歴史への関心をより深めてもらう。資料整理を含めた初心者向けの講座。鳥取県立博物館との連携事業。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	資料相談室	平成 29 年 6 月 (予定)	各家庭に残されてきた歴史的資料等について市民の相談窓口を開設する。
	夜間コンサート	平成 29 年 6 月 (予定)	夜間開館時期にイベントを実施。夜間開館時展覧会・樗谿のホタル鑑賞と併せて楽しんで頂く。
	お話し会	平成 29 年 6 月 (予定)	夜間開館時期にイベントを実施。夜間開館時展覧会・樗谿のホタル鑑賞と併せて楽しんで頂く。
	博物館実習生の受入	平成 29 年 夏 (予定)	博物館学芸員資格取得に必要な実習として、資料取扱講習、模擬展示企画作成等を行う。
	中学生職場体験の受入	平成 29 年 5 月 (予定)	市内中学校の生徒を受入、学芸業務、受付業務、広報作業、展示案内、ミュージアムグッズ販売など博物館活動の体験を行う。
	学校連携事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各学校へ働きかけ来館をうながす。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	博物館年報	通 年	平成 28 年度の博物館活動を冊子にまとめ、報告する。
	出前ミュージアム講座	通 年	博物館で定番メニューを用意し、出前で講演を行う。
	パネル・ミュージアム事業	通 年	財団で共通パネルを制作し、公民館等へ貸し出す。
	博学連携事業	通 年	博物館と学校が連携して地域学習の場を設ける。
調査・研究 収集・保存 事業	資料整理	通 年	未整理資料の整備・目録化を進める。資料整理補助員を雇用し、実施する。
	流通図書・古書購入	通 年	市民からの問い合わせや、諸事業の企画・立案、情報収集に必要な図書を整備する。
	データベース構築	通 年	館蔵資料の活用強化を図るため、現在は台帳で管理している館蔵資料についてデータベースの構築を行う。
	館蔵資料の修復・保存	通 年	収蔵資料の保存・活用のため、劣化・損傷している資料の修復・修繕並びに資料の有効活用に資する対応を行う。ただし、寄託資料は対象外とする。
	IPM メンテナンス	通 年	主に清掃・温湿度調整などの環境管理と薬剤などを用いた防除を組み合わせ文化財に有害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	継続調査	通 年	博物館活動全般についての調査・研究。常設展示運用のため、因幡地方の歴史・文化の調査を継続的に実施する。
	準備調査	通 年	将来的な事業計画のため、準備調査を行う。(山口県・東京都他)
	館蔵資料の写真撮影	通 年	資料の二次利用(図版等)、劣化防止、情報公開に努めるため、新たに受け入れた博物館資料から選別して記録化(写真撮影)し、複製を作成して利用の便を図る。
	研修参加	通 年	各種研修に参加し、学芸員の資質向上や知識習得を図る。
	資料購入	通 年	「寄贈」や「寄託」では入手しにくい資料を資料収集の一環として購入し、博物館活動の基本である資料の整備・充実を図る。一定額以上の資料購入にあたっては、資料評価委員会の開催を要請し、協議検討を行う。
施設貸与事業	研修室の貸出	通 年	会議・研修・勉強会等のために研修室の利用を希望する団体等に対し、研修室の貸出をする。
関連物品販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当館図録をはじめ、オリジナルグッズや関連書籍、地元工芸品等を来館者に対して販売。一部は鳥取市運営のインターネットショッピングモール「とっとり市」でも販売する。展覧会開催期間は展覧会関連書籍やグッズ等を期間限定で販売。 ・イベントに応じ、館外にて図録等の販売を実施する。 ・オリジナルキャラクターを使用したストラップ等来館記念品として販売を促進する。 ・地域振興の観点から鳥取市国府町上地地区で生産された酒米を活用した清酒「京ヶ原」販売及び泡盛「仁風」の酒類販売を実施する。
その他財団共通事業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図る。

鳥取市因幡万葉歴史館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市因幡万葉歴史館の管理・運営を行う。
	受託事業	通 年	国府史跡ネットワーク案内広場の維持・管理を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	万葉歌人大伴家持の紹介をはじめ、万葉・王朝時代の歴史文化、因幡国庁を中心とした古代因幡の歴史や、麒麟獅子舞等の民俗芸能を紹介する。
	企画展 「記憶する、記録する」(仮称)	平成 29 年 7 月 1 日～ 9 月 24 日 (前期予定)	記憶と記録をテーマに、前期・後期と展示を行う。 【前期】 国府町がもつ町内の昭和 20～30 年代の記録写真を中心に紹介しながら、なくなりつつある地元の記憶を呼びおこし記録した展示。
		平成 29 年 10 月 7 日～ 11 月 5 日 (後期予定)	【後期】 鳥取市出身の文部技官、近藤喜博氏の文化財調書を元に、記録し後世に残してきた資料の歴史を伝える。 戦前・戦後の神道学のあり方から、以降の文化財行政に携わってきた鳥取出身の神道学者の業績を顕彰する。
	パネル展 「大伴家持生誕 1300 年記念パネル展」(仮称)	平成 30 年 2 月頃(予定)	「万葉集」最後の歌を因幡の地で詠んだ万葉歌人大伴家持は、平成 30 年に生誕 1300 年を迎える。これを記念し、古代の因幡や万葉集について学び、全国に万葉のふるさと鳥取をアピールするとともに、若い世代に豊かな鳥取の文化と風土を伝えていく機会とする。
	巡回展 「第 10 回池田家墓所写真コンクール作品展」(仮称)	平成 29 年 12 月頃 (予定)	史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が主催する、池田家墓所の写真コンクールの作品展覧会。 万葉歴史館への入館者には池田家墓所見学者も多く、国府町に所在する史跡の活用、周知活動の一環として開催する。
	共催展 「第 59 回発明くふう展」(仮称)	平成 29 年 11 月上旬 (予定)	一般社団法人鳥取県発明協会が主催する、発明くふう展の一般の部、児童生徒の部それぞれの創意工夫あふれる入選作を展示する。
	共催展 「鳥取書道代表十人展」(仮称)	平成 30 年 1 月中旬 (予定)	鳥取を代表する書道家十人による作品展。 旧正月万葉茶会にあわせて開催する。
次年度以降の展示準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、鳥取市歴史博物館や他施設、関係機関との連携、協力をして調査研究、調整を行う。	

区分	事業名	期間	事業内容
教育普及 啓発事業	体験講座 「万葉人に変身！ まが玉づくり&万 葉衣装体験」 (仮称)	平成 29 年 4 月 29 日～ 5 月 5 日 7 月 22 日～ 8 月 20 日 (予定)	古代のアクセサリーと呼ばれるまが玉づくりと万葉衣装を身につけて、万葉集の時代を感じ興味を深めるとともに、記念撮影を行う。
	「まんれき！ クイズラリー」 (仮称)	平成 29 年 4 月 29 日～ 5 月 5 日 7 月 22 日～ 8 月 15 日 (予定)	館内及び万葉と神話の庭をじっくり見学しながら万葉歴史館が用意したクイズを解いてもらい、万葉歴史館や万葉時代の素晴らしさを再認識していただく。
	体験講座 「子ども草木染め 工房」(仮称)	平成 29 年 7 月下旬 (予定)	万葉時代にも行われていた草木染めの体験学習講座。身近な植物を染料に、布に絞りを入れて染める。 指導：国府町内草木染グループ
	体験講座 「万葉の庭散策」 (仮称)	平成 29 年 8 月下旬、 10 月、3 月 (予定)	「万葉と神話の庭」を散策しながら、紫草の草木染、万葉集ゆかりの植物と万葉集の歌を紹介する講座、平安貴族がたしなんだ香道の体験講座を開催する。 万葉植物に触れながら、万葉集や古代文化について紹介し、また「万葉と神話の庭」について広く周知する。
	体験講座 「組紐づくり」 (仮称)	平成 29 年 9 月、11 月 (予定)	キットを使って簡単な組紐を作る。 織り方や編み方について楽しみながら体験し、奈良・平安時代の衣装や染色について考える契機とする。
	「ジオサイトバス ツアー」(仮称)	平成 29 年 10 月(2 回) (予定)	史跡梶山古墳や旧美敷水源地水道施設の一般公開日に合わせて、国府町内の史跡などのジオサイトを巡り、地域の歴史を学ぶ契機とする。
	体験講座 「薬膳講座」 (仮称)	平成 29 年 11 月(予定)	「万葉と神話の庭」を散策しながら、万葉集ゆかりの植物を使った食事を調理したりする。 万葉植物に触れながら、万葉集について紹介し、また万葉の庭について広く周知する。
	「フォト 575 俳句 講座」(仮称)	平成 29 年 12 月頃 (予定)	「史跡池田家墓所写真コンクール作品展」の応募に合わせて講座を開催し、作品展への応募を目指す。
	「お正月寄せ植え づくり」(仮称)	平成 29 年 12 月初旬 (予定)	古来より縁起物といわれる花木を用いて、新年を迎えるのにふさわしい寄せ植えづくりを行う。
	体験講座 「万葉かな書道教室」(仮称)	平成 30 年 1 月(予定)	毛筆で万葉集を書く書道教室。 万葉仮名について学ぶ契機とする。
新緑万葉茶会	平成 29 年 5 月中旬～ 6 月頃 (予定)	新緑の季節に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞う。	

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	旧正月万葉茶会	平成 30 年 1 月下旬 (予定)	万葉集最後の歌が詠まれた旧正月に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞い、琴の演奏を楽しみながら旧正月を祝う。
	短歌作り教室	平成 30 年 1 月下旬 (予定)	大伴家持が歌を詠んだ旧正月に、講師指導のもとに短歌を作る。
	第 20 回因幡の傘踊りの祭典	平成 29 年 8 月中旬 (予定)	県東部の傘踊りや手笠踊りの団体などが、「因幡の傘踊り」の発祥の地に一堂に集い豪華競演。傘踊り体験コーナーや出店、祭典終了後に打上花火を行う。
	第 20 回万葉集朗唱の会	平成 29 年 10 月 15 日 (予定)	大伴家持が詠んだ歌 470 余首を参加者全員が万葉衣装に身を包み、思い思いにリレー方式で歌い継ぐ。万葉食の出店や茶席、地産地消コーナーを設置する。
	第 18 回曲水の宴	平成 29 年 10 月 15 日 (予定)	庭園の遣水に盃を浮かべ、流れにあわせて詩歌を詠む万葉時代に行われた貴族の優雅な歌遊びを再現する。
	雅楽・舞楽の宴 (仮称)	平成 29 年 11 月 3 日 (予定)	伝承館を舞台とし、国府まつりの日に合わせて会場を訪れる方々に宴を楽しんでいただく。舞楽、伎楽が因幡万葉歴史館の常設展示のテーマの一つでもあり、当館への理解を深める契機とする。
	カルチャースクール事業	通 年	天平ろまんホールにて、ボタニカルアート・水彩画・パッチワーク・短歌・俳句・ストレッチ・ヨーガ整体・陶芸教室などのカルチャースクールを開催する。また、新規事業の企画を随時行っていく。
調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通 年	国府町ゆかりの人物や国府町内の石造物、館蔵資料の調査・研究を継続して行う。
	収集・保存	通 年	各事業の企画・立案や、情報収集に必要な書籍や資料を収集し、整理・保存する。 寄託・寄贈資料等の受入を行い、資料の収集・保存を行う。
施設貸与 事業	施設貸与	通 年	天平ろまんホール、伝承館等施設貸し出しを行う。
	展示室貸与	通 年	民俗展示室、企画展示室を貸し出し、文化活動の展示会及び発表会に活用する。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	万葉に関する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 来館者の憩いの場として、喫茶業務を行う。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業の P R を行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問し P R することにより施設利用者数の増加を図る。

仁風閣・宝扇庵

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき仁風閣・宝扇庵の管理・運営を行う。
展示開催 事業	企画展 「甦る鳥取城」 (仮称)	通年	鳥取城跡を目的にご来館されるお客様に対して、鳥取池田家や鳥取城に関する展示を開催する。
	写真展 「池田家墓所写真コンクール作品展」(仮称)	平成29年 9月2日～ 10月15日 (予定)	「池田家墓所写真コンクール」に応募された作品を展示する。併せて池田家の歴代藩主及び墓所の様子を紹介する。
教育普及 啓発事業	仁風閣・城跡周辺 「観光視点での取 組事業」(春・秋)	平成29年 4月・11月 (予定)	仁風閣と鳥取城跡の統合ツアーの企画、斡旋を行っていく。 県外観光客やニューツーリズムに対応する。 仁風閣～宝扇庵お茶席～城跡(巻石垣、季節感)の魅力を紹介する。
	「仁風お茶席」	平成29年 4月～11月 平成30年 3月の第3日 曜日	宝隆院庭園において茶道体験教室を行う。
	「仁風閣誕生フェア」	平成29年 4月29日～ 5月10日 (予定)	仁風閣が完成したのが明治40年5月10日。 この日に焦点をあて、後世に残したい『国指定重要文化財仁風閣』を市民の方に再認識していただくための事業を開催する。 ＜トークイベント＞ 5月7日(予定) ＜特別展示＞ 4月21日～ 5月28日(予定) ＜軽音楽コンサート＞ 5月5日(予定) ＜カフェ＞ 4月29日～ 5月10日(予定)
	「鳥取城講座(初級編)」(仮称)	平成29年 7月23日 7月30日 (予定)	仁風閣は鳥取城跡に位置し、鳥取城跡の大手登城路の復元工事が進められるなど、近年、城跡への関心も高まっており、城跡を目的に来られる方に鳥取城を紹介する講座を2回開催する。
	「秋の仁風閣フェア」	平成29年 10月20日～ 11月5日 (予定)	昭和51年11月3日は、仁風閣が国指定重要文化財として一般公開された日となる。 この日に焦点をあて、後世に残したい『国指定重要文化財仁風閣』を市民の方に再認識していただくための事業を開催する。 ＜トークイベント＞ 11月3日(予定) ＜軽音楽コンサート＞ 10月22日(予定) ＜レコード鑑賞会＞ 10月29日(予定) ＜写真教室＞ 11月5日(予定) ＜カフェ＞ 10月20日～ 11月3日(予定)

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	「仁風閣サロンコンサート」	平成 30 年 3 月 18 日 (予定)	定期的に演奏会を開催し、地域音楽文化レベル向上へ貢献していく。
	トワイライトエクスプレス「瑞風」立寄り事業	通 年	西日本旅客鉄道株式会社が平成 29 年春に運行開始を予定している、新たな寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」乗客の仁風閣への立寄り受入事業。 麒麟獅子舞や民藝喫茶、学芸員による解説、「御座所」への特別入室でおもてなしを行う。
	「仁風閣ライトアップ」	毎週土曜日 特別期間	毎週土曜日と久松山一帯の「桜まつり」への協力、大型連休、クリスマス等の特別期間に夜間ライトアップを実施する。
施設貸与 事業	仁風閣の貸出	通 年	市民団体等による展覧会、イベント、結婚式場、結婚式等による記念写真撮影などへの貸出。
	宝扇庵の貸出	通 年	お茶会、結婚式控え室、記念写真控え室などへの貸出。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	国重要文化財「仁風閣」に関連する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図る。

鳥取市あおや郷土館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや郷土館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	山陰海岸ジオパーク展示コーナーとして「鳴り砂」「夏泊の海女漁」「因州和紙」「青谷上寺地遺跡」などについて紹介するとともに、ジオパークに関する情報発信を行う。
	企画展 「ニシオトミジ展」(仮称)	平成 29 年 4 月 15 日～ 5 月 21 日	鳥取市の画家・ニシオトミジ氏の作品を展示する。ニシオ氏は、中学校の美術教諭として最初の赴任地が青谷中学校である。鳥取市文化賞、鳥取県文化功労賞受賞。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	共催展 「あおや文化まつり 2017」	平成 29 年 5 月 27 日～ 6 月 4 日	青谷町文化協議会に所属する団体による作品を展示する。 共催事業：青谷町文化協議会主催
	企画展 「陶芸家倉元里彩展」(仮称)	平成 29 年 6 月 10 日～ 7 月 9 日	あおや郷土館で毎年開催している陶芸体験教室の指導者でもある青谷町出身の陶芸家・倉元里彩氏の作品を展示する。
	企画展 「星空展」(仮称)	平成 29 年 7 月 15 日～ 8 月 27 日	星座の歴史やあまり知られていない和名、その由来などについて紹介する。普段何気なく見ている夜空の星座に興味を持っていただく。期間中、夜間観測会も実施する。
	共催展 「夏泊の海女」(仮称)	平成 29 年 9 月 2 日～ 11 月 5 日	鳥取市歴史博物館との連携事業。 山陰海岸ジオパークの紹介とともに、夏泊をはじめとした豊かな漁場と秀吉の時代からの歴史を持つ夏泊海女漁を取り上げ、地域の文化・産業・観光資源として再確認する。
	「青谷高等学校授業作品展」	平成 29 年 11 月 11 日～ 12 月 3 日	青谷高校と連携し、授業の成果である美術・工芸作品を展示発表することで学校、地域の連携を図るとともに、生徒の今後の学習意欲を高める一助とする。
	企画展 「郷土のカメラマンによる写真展 2017」	平成 29 年 12 月 9 日～ 平成 30 年 1 月 8 日	開館以来継続している、鳥取市気高・青谷・鹿野地域在住の写真愛好家が撮影・制作した写真作品を展示する。
	「第 13 回鳥取市児童生徒交流絵画展」	平成 30 年 1 月 13 日～ 2 月 12 日	気高・鹿野・青谷町の児童・生徒による作品を広く展示、紹介し市民が地域の子どもたちの創作活動の成果に接する機会を設ける。
	企画展 「スペイン版画展」(仮称)	平成 30 年 2 月 17 日～ 3 月 25 日	第 2 展示室であおや郷土館所蔵のスペイン版画を展示する。第 1 展示室では版画にちなんで子どもの手形、足形で作品を仕上げるイベントを開催する。
	次年度以降の展示準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	「夏休み子ども工作教室」	平成 29 年 8 月上旬 (予定)	小・中学生を対象に、夏休みに課題の一助となるよう工作教室を行う。昨年に引き続きジェルキャンドルづくりを行う。
	青谷 3 館連携イベント 「スタンプラリー」	平成 29 年 夏休み期間中	恒例となっている青谷 3 館で連携し各館を巡るスタンプラリーを行う。 連携施設：鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや和紙工房
	「青谷まちあるき」	平成 29 年 10 月頃	青谷町内のジオパークと歴史散策を行う。
	「倉元里彩 陶芸体験教室」	平成 29 年 10 月上旬頃	青谷町出身の陶芸家・倉元氏による陶芸体験教室開催し、モノづくりの楽しさを知ってもらう。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	「手形・足形で動物を描こう！」	平成 30 年 3 月 10 日～ 3 月 21 日	開催中の版画展にちなみ、版画のようにスタンプで手形・足形を取り、動物やおひなさま、こいのぼりなどの絵を制作する。期間中随時受け入れる。
	「わくわく体験学習受入」	平成 29 年 5 月（予定）	青谷中学校 2 年生生徒を受け入れ、博物館事業の体験を通して、社会への認識を深めてもらう。
調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通 年	力士塚、石工川六、郷土の偉人関係の調査を行う。
	館蔵資料の整理・確認	通 年	収蔵資料の再整理・確認、貸出を行う。
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通 年	あおや郷土館に関する図書及び財団刊行物などの関連商品の販売を行う。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業の P R を行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問し P R することにより施設利用者数の増加を図る。

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	鳥取県教育委員会、鳥取県埋蔵文化財センターと連携し、青谷上寺地遺跡の出土遺物を展示する。年 1 回展示替えを行う。
	ロビー展示 「県内文化財地図 パネル展示」	通 年	鳥取県内の文化財所在地や発掘調査地などの情報をパネルで展示する。
	ロビー展示 「2017 発掘調査速 報展」	平成 29 年 3 月～5 月	青谷上寺地遺跡の平成 28 年度の発掘調査の成果を速報版として展示する。
	ロビー展示 「焼き物展」 (仮称)	平成 29 年 9 月中旬～ 12 月中旬	縄文時代から現代までの土器・陶器を展示し、その歴史を紹介する。
	次年度以降の展示 準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
教育普及 啓発事業	体験学習	通 年	「弥生のかご作り」「土器・土笛作り」「麻ひもコースター作り」、鑄造体験など子どもから大人まで楽しめる体験を行う。
	ゴールデンウィーク体験イベント	平成 29 年 5 月	「粘土で作ろう！アートネックレス」(仮称)として樹脂粘土で模様の入った勾玉、ビーズなどをつくるイベントを行う。
	来館者 20 万人達成事業	平成 29 年 6 月頃	青谷上寺地遺跡展示館への延べ来館者数 20 万人が平成 29 年 6 月頃に見込まれるため、これを記念して該当者に記念品を贈呈する。
	夏休み体験イベント	平成 29 年 7 月～ 8 月頃	「ジェルキャンドルづくり」、「琥珀勾玉づくり」、「貝輪づくり」など小・中学生を対象に夏休み自由研究課題をサポートする。
	あおいちイベント	平成 29 年 6 月・9 月・ 10 月・11 月 頃	ようこそ館前で開催されるあおいちに合わせて展示館への誘客を図るため、ゴム印スタンプづくりなどを行う。
	秋休み体験イベント	平成 29 年 10 月頃	「琥珀勾玉づくり」「トンボ玉づくり」で子どもから大人まで楽しめる体験イベントを行う。また、パステルアートで青谷上寺地遺跡から出土した絵画・文様などをモチーフにして絵を描くイベントを開催する。
	妻木晩田遺跡秋麗まつり出張体験	平成 29 年 9 月頃	むきばんだ史跡公園祭りに参加し、出張パネル展、体験コーナーを設け青谷上寺地遺跡を情報発信する。
	青谷上寺地遺跡友の会育成事業	通 年	青谷上寺地遺跡友の会の活動を支援するとともに、体験メニューの開発などを共同で行う。
調査・研究 収集・保存 事業	資料収集	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び調査成果を使用して製作された図書、論文、考古学の基本図書などの収集。
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び関連商品の販売を行う。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業の P R を行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問し P R することにより施設利用者数の増加を図る。

鳥取市あおや和紙工房

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや和紙工房の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	古来の和紙の製法、道具、和紙の現在・未来などの展示を行う。また、体験工房において、流し漉きなど和紙の伝統技術の実演を随時行う。
	企画展 「ちぎり絵展～和紙の愉しみⅧ～」	平成 29 年 4 月 22 日～ 6 月 18 日 (予定)	「全国ちぎり絵サークル第 17 回全国展」に出品された作品の中から約 50 点を選抜して展示する。
	企画展 「因州和紙灯り作品展 木霊～樹の声を聴く～」 (仮称)	平成 29 年 7 月 1 日～ 9 月 3 日 (予定)	和紙の原質である樹木の持つ生命を、和紙の灯りを通して伝える。鳥取県大山町在住の木工・灯り作家 山ノ内芳彦氏を中心とした木工・灯り作品を展示する。
	企画展 「因州和紙ボールペンアート展Ⅱ～鳥～」 (仮称)	平成 29 年 9 月 16 日～ 11 月 26 日 (予定)	カナダを拠点に多数の都市で活躍している現代美術家 永本冬森氏が、様々な因州和紙にボールペンでドローイングし襖や屏風といった建具に仕上げた作品を展示する。
	企画展 「鳥取書道女流選抜展 青谷展」	平成 29 年 12 月 2 日～ 12 月 24 日 (予定)	鳥取県東部を中心に活躍する女性書道家 27 人による書の作品を展示する。
	企画展 「第 14 回因州和紙あかり展」	平成 30 年 1 月 13 日～ 3 月 25 日 (予定)	和紙あかり作品の全国公募展。鳥取県特産の因州和紙など使用したあかり作品、オブジェなどの照明作品を展示する。
	ロビー展示	通 年	鳥取県指定無形文化財「因州青谷こうぞ紙」に関する資料や因州和紙に関連した創作活動などの発表の場として、エントランスホールにおいて随時展示を行う。
	次年度以降の展示準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	「紙すき体験」	通 年	紙すき体験、紙すき体験で作った和紙を使ったランプシェード作り、卒業証書作りなどをはじめ、いろいろな和紙(加工)体験メニューを提供する。
	ちぎり絵展関連事業 「因州和紙ちぎり絵体験」 (仮称)	平成29年 4月～5月 (予定)	色紙に因州和紙を貼りつけて、ちぎり絵を作る。
	「モビールづくり」 (仮称)	平成29年 5月(予定)	因州和紙を使ってモビールを作る。
	「和紙の小物入れづくり」 (仮称)	平成29年 6月(予定)	因州和紙を使って小物入れを作る。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	因州和紙あかり展 関連事業 あかり展出前講座 「出張ワークショップ」(仮称)	平成 29 年 6月～11月 (予定)	因州和紙あかり展一般部門への出品に向けて、地区公民館等に出向きランプシェードづくりの制作指導を行う。
	因州和紙あかり展 関連事業 「あかり展ジュニア部門出前講座」 (仮称)	平成 29 年 6月～11月 (予定)	因州和紙あかり展ジュニア部門への出品に向けて、小学校等に出向きランプシェードづくりの制作指導を行う。
	「木工・和紙のランプシェードづくり」(仮称)	平成 29 年 7月～8月 (予定)	木工・灯り作家の指導により、木工・和紙のランプシェードを作る。
	わくわく夏休み体験 「折り染め和紙でオリジナルうちわづくり」	平成 29 年 7月23日・30日・8月6日・20日・27日 (予定)	流し漉きで漉いた和紙を折り染めにし、うちわ作りを行う。
	「万華鏡づくり」 (仮称)	平成 29 年 8 月 (予定)	因州和紙を使って万華鏡を作る。
	「和紙デコパージュづくり」(仮称)	平成 29 年 9 月 (予定)	因州和紙を使ってデコパージュグッズを作る。
	ボールペンアート展関連事業 「トークショー」 (仮称)	平成 29 年 9 月～11 月 (予定)	現代美術家の永本冬森氏と著名人、和紙業者とのトークショーを行う。
	ボールペンアート展関連事業 「ボールペンドロ잉アートづくり」(仮称)	平成 29 年 9 月～11 月 (予定)	因州和紙にボールペンを使ってドロ잉作品を作る。
	「和紙の花ももよ草・和紙の花づくり」(仮称)	平成 29 年 11 月 (予定)	青谷町で活動している因州和紙工芸創作グループ「和紙の花ももよ草」の指導により、和紙の花を作る。
	「リースづくり」 (仮称)	平成 29 年 12 月 (予定)	因州和紙を使用してリースを作る。
	「手すき和紙で墨流し(マーブリング)を楽しもう」 (仮称)	平成 29 年 12 月 9 日・10 日 (予定)	墨流し(マーブリング)という染めの方法を用いてオリジナルの和紙を作る。
	「手すき和紙でランチョンマットづくり」(仮称)	平成 30 年 1 月 (予定)	流し漉きで漉いた和紙に柿渋を塗り込んでランチョンマットを作る。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	因州和紙あかり展 関連事業 「ランプシェード づくり①」(仮称)	平成30年 1月～2月 (予定)	木工・灯り作家の指導により、木やツタ、和紙を 使ってランプシェードを作る。
	因州和紙あかり展 関連事業 「ランプシェード づくり②」(仮称)	平成30年 1月～2月 (予定)	因州和紙を使ってランプシェードを作る。
	「和紙のキューブ ライトづくり」 (仮称)	平成30年 2月(予定)	因州和紙とLEDを使用した立方体のライトを作 る。
	「青谷3館連携ス タンプラリー」	平成29年 夏休み期間中 (予定)	青谷3館が連携して各施設を巡るスタンプラリー 形式の事業に取り組み、集客力のアップを図る。 連携施設：鳥取市あおや郷土館 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
	「わくわく体験学 習受入れ」	平成29年 5月(予定)	青谷中学校2年生の「わくわく体験学習」を受け 入れ、体験を通して社会への認識を深める学習を 支援する。
	「因州青谷こうぞ 紙手すき和紙保存 会活動支援・共同 事業」	通 年	ユネスコ無形文化遺産登録を目指す因州青谷こう ぞ紙手すき和紙保存会との協力・共同の活動を通 じて、登録へ向けた活動を支援する。
施 設 貸 与 事 業	「西いなば再発見 フォトコンテスト 入賞作品展」	平成30年 2月17日～ 3月4日 (予定)	西いなば再発見フォトコンテスト入賞作品の展 示。
	研修室等貸出	通 年	会議・研修等のために研修室等の利用を希望する 団体等に対し、研修室・多目的ホールの貸出を行 う。
	施設備品の貸出	通 年	和紙業者・和紙組合等へ体験工房設置機材(断裁 機・ホーレンビーター・スクリーン・カレンダー ・打解機等)の貸出を行う。
関 連 物 品 販 売 事 業	ミュージアムショ ップの運営	通 年	地元の因州和紙や和紙加工商品の販売、あおや和 紙工房オリジナル商品の製作及び販売を行う。ホ ームページによる製品紹介新設と通信販売の拡大 により、因州和紙の魅力を広く広める。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中 学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等 施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、 学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契 機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のP Rを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館 等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増 加を図る。

城下町とっとり交流館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき城下町とっとり交流館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	巡回展 「中田正子パネル展」(仮称)	平成 29 年 4 月 15 日～ 6 月 18 (予定)	鳥取市歴史博物館で平成 18 年度に開催した展覧会「日本発女性弁護士 中田正子」展の巡回展を開催する。
	企画展 「ゆらりん工房和紙あかり展」(仮称)	平成 29 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日 (予定)	因州和紙とあかりを融合させた遊楽隣工房の作品を展示する。 関連体験イベント「和紙あかりづくり体験」を夏休みに開催する。
	企画展 「大工町と地震」(仮称)	平成 29 年 9 月 8 日～ 11 月 30 日 (予定)	大工町と鳥取大地震についてパネルで展示する。
	巡回展 「絵葉書の世界」(仮称)	平成 29 年 12 月 16 日～ 2 月 4 日 (予定)	鳥取市歴史博物館で平成 26 年度に開催した展覧会「絵葉書の世界」の巡回展を開催する。
	「尾崎方哉展」	通 年	放哉蔵を活用して、尾崎放哉の句を市内の書道家が書いた作品を展示する。
	「巡回展」	通 年	財団所管施設で開催する展覧会を巡回展示する。
	教育普及 啓発事業	歳時 端午の節句	平成 29 年 4 月 22 日～ 5 月 7 日 (予定)
歳時 七夕		平成 29 年 7 月 1 日～ 7 月 7 日 (予定)	入館者等に短冊を書いていただき、竹笹に吊るして 1 週間玄関先に飾る。
歳時 月見		平成 29 年 9 月 15 日 (予定)	すすきと団子を飾り、来館者にすすきを提供する。
歳時 節分		平成 30 年 2 月 3 日 (予定)	前日の夕方、柊の枝・いわしの頭を串に刺したものを玄関先 2 ヲ所に設置し、福豆を提供する。
歳時 ひなまつり		平成 30 年 2 月 24 日～ 3 月 4 日 (予定)	高砂屋近隣の方々から借用・寄贈されたひな人形を 2 階に飾りつけをする。3 日は関連イベントを開催する。
季節の植物		通 年	玄関先、中庭の整備を行い、季節の植物を配置する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設貸与 事業	貸 室	通 年	多目的交流室（和室、板の間大・小、茶室、納戸）の施設貸出事業。
	家財蔵	通 年	文化芸術の向上に資することを目的に、創作活動を行っている初心者に、作品の展示場として貸し出す。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	鳥取市の民・工芸品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 市民の憩いの場として、軽食・喫茶の販売を行う。
そ の 他 財 団 共 通 事 業	博学連携推進事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校へ働きかけ学習指導要領に基づいた博物館等施設の利活用を行う。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	財団広報事業	通 年	マスコミ、新聞広告等を利用して施設、事業のPRを行うとともに、観光施設、福祉施設、公民館等に訪問しPRすることにより施設利用者数の増加を図る。

【公益目的事業 2】

鳥取市埋蔵文化財センター

事業名	原因者	調査内容	契約額(千円)	備考
鳥取市内遺跡 発掘調査事業	鳥取市	試掘調査 調査面積 1,000 m ² 整理・報告書作成	8,937	試掘調査
曳田所在墳群 発掘調査事業	鳥取県	県道整備関連事業 調査面積 1,000 m ² 整理・報告書作成	20,914	継続事業
広西所在遺跡 発掘調査事業	鳥取市	上水道整備関連事業 調査面積 1,375 m ² 整理・報告書作成	16,257	新規事業
山手所在・山手古 墳群発掘調査事業	鳥取県東部広域 行政管理組合	可燃物処理施設整備関連事業 整理・報告書作成	13,361	新規事業
岩美町内遺跡 発掘調査事業	岩美町	試掘調査 調査面積 50 m ² 整理・報告書作成	1,806	新規事業
岩美町所在古墳群 発掘調査事業	民間	土取り事業 調査面積 1,000 m ² 整理・報告書作成	22,238	新規事業
埋蔵文化財発掘調 査管理運営事業	鳥取市	鳥取市補助金 埋蔵文化財センターの管理 運営	2,366	
合計	—	調査面積 4,425 m ² 報告書作成 6 遺跡分	85,879	